

南部地区市町村議会議長会

久米島町行政視察研修

南部地区市町村議会議長会（会長：識名与那原町議会議長他12名）の管内離島行政視察研修が5月16日～17日の日程で、久米島町で開催されました。初日は大田町長から、本町の概要説明を受け、2日目に海洋深層水研究所や深層水を活用した関連施設、車えび養殖場、海ぶどう養殖場、そして、パークゴルフ場を視察され、芝の管理が素晴らしいと熱心に、質疑を行っていました。「視察研修で得た成果は、活動に反映する事でしょう。」と感想を述べていました。



山川穂高選手見事なホームラン

久米島応援団も熱狂！

5月21日、22日の両日、那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇にて、プロ野球パ・リーグ沖縄県内公式戦、埼玉西武ライオンズ対福岡ソフトバンクホークスの試合が行われました。久米島からも山川穂高選手のご家族や親戚、ファンが応援にかけつけました。西武4番山川穂高選手は7回左中間へ3ランホームラン（今季20号）を放ち、久米島応援団を含む会場1万6千人を熱狂させ、大いに会場を盛り上げていました。



6月12日は久米島海洋深層水の日

第13回Sea Water Dream フェスティバル

久米島町では海洋深層水を水深612mから取水していることから、毎年6月12日を久米島海洋深層水の日として制定しており、Sea Water Dream フェスティバルも今年で13回目を迎えました。イベントは、毎年恒例のもずく流しや、海洋生物キーホルダー作成、海洋深層水〇×クイズ、特別価格で用意した海洋深層水関連商品販売、福引・抽選会で賑わっていました。また、海洋深層水の冷水プールに子供達が冷たくて気持ちいと真夏の暑さを吹き飛ばしていました。



今宵満月の日にサンゴの産卵

はじめてみる光景に興味津々！

5月25日午後7時40分頃サンゴが一齐に産卵をはじめました。この日は一般社団法人久米島の海を守る会主催でサンゴの産卵観察会が開催され、多くの親子達が参加しました。サンゴは種類にもよりますが、主に5月～6月の満月の日に産卵するといわれます。一齐に放たれた卵は月の灯りに導かれるようにみな水面を目指し、水面ではじめて初めて受精します。その光景を初めてみる子供たちは大変興味津々でした。



沖縄の夏到来！ハーリー鐘が鳴り響く

真泊・鳥島・儀間ハーリー

旧暦5月4日（ユッカヌヒー）にあたる6月6日に伝統行事ハーリーが真泊漁港、鳥島漁港にて行われました（儀間は6月9日に実施）。豊漁と航海の安全を祈願するハーリーは、御願ハーリーからはじまり、小学生の部、中学生の部、高校生の部、職域の部による競漕の他、玉投げや綱引き、マグロ解体ショーと様々なプログラムもあり、地域のお祭りとして賑わっていました。観光で立ち寄った際はぜひ飛び入り参加を！



第29回 宜野湾～久米島ヨットレース

風と波にのってようこそ久米島へ！

5月25日に第29回宜野湾～久米島ヨットレースOCEAN CUP 2019が開催されました。午前6時朝日が昇るころに、16艇のヨットが約90km離れた久米島を目指し、宜野湾港マリーナ沖を出発しました。

慶良間諸島を通過したのち、久米島のトンバラ岩を一周して兼城港に向かうコースとなっており、約7時間の耐久レースでした。大会終了後は、パーティにてお互いの健闘を称えあい盛り上がっていました。



久米島紬500年の伝統を永遠に

久米島紬後継者育成事業 入所式

町では、久米島紬の技術や文化の継承を目的に後継者育成事業を行っています。今年度は2人の受講生を迎え、6月10日に入所式が行われました。大田町長は「中国から伝わって500年の歴史をもつ久米島紬を永遠に継承されるよう行政としても支援していきたい。皆さんはこの1年で技術を身に付け、後継者として頑張してほしい」と激励しました。受講生は10か月で2～4反を織り上げることで終了証が授与されます。受講者の作品は産業まつりに出品予定です。



久米島高校、久米島高校卒業生と記念植栽

ぜひ教材に活用して！

沖縄椿協会から久米島高校へ久米絞（くめしぼり）10本が寄贈され、5月28日に久米島高校で植栽を行いました。久米絞は久米紅の挿木を繰り返している内に誕生した、黄金斑が特徴の花付きのよい椿です。まだ品種登録はされておらず、今年12月を目標に日本ツバキ協会へ申請するそうです。久米絞は蒸散や光合成実験、椿油の採取、挿木の練習など学ぶことが多く、ぜひ教材に活かしてほしいと石原校長先生に呼びかけていました。

